



いいたて

議会だより

平成30年12月定例会
No.
81
2019.2.20

発行：福島県飯館村議会
編集：議会広報編集特別委員会



【平成31年いいたて村新春のつどい】



飯館中学校体育館にて盛大に行われました



議案審議「ザ・議論」	2
一般質問「村政ここが聞きたい？」	3～8
審議結果	9～10
常任委員会活動報告	11～12
議会の主な動き・編集後記	12

ザ・議論

平成30年第7回飯館村議会臨時会
平成30年第8回飯館村議会臨時会
平成30年第9回飯館村議会定例会
次のような議論が交わされました。
その議論の一部を紹介します。

補正予算

農業基盤整備促進事業について

質問 農業を今後、再生させていくにあたって、こういった作物をこの地区でこのくらい作付けしようとか、そういう戦略的な計画はあるのか。

答弁 今後、食用米、飼料米を、作付けするとか色々な計画があります。

一方で、村外の企業が飯館の農地を利用して作物をつくるような相談も入ってきています。そういう計画を参考にしながら基盤整備した地区に誘導するように進めています。

道の駅までい館の増資

質問 までい館への出資金は、この増資後の

出資割合と、黒字化の見通しは。

答弁 出資割合は、村が現在500万円です。増資分3500万円の計4千万円、までい企業組合が100万円、赤塚物園が350万円となり、村の出資割合は、89%です。

黒字化に向けた取り組みの現時点での内容は、食堂、物流、セブンイレブン等のコスト削減で646万円、花卉栽培のコスト削減で196万円、ワックスがけの回数を減らしたり、その他の経費削減で158万円、販売強化ということで、道の駅の関連イベントの出店などの強化する対策に16万円。来年度の改善額としては1千600万円程度と試算しています。

売り上げの方が、まだ詰まっていないので



▲道の駅までい館

上げられませんでした。売り上げ分の増も見込まれますので、30年度に比べれば売り上げ、コスト削減などで、

これ以上の収入増、黒字幅は増えるのかなと思っています。

なお、売り上げの方については、現在の赤字部分になっている花の分で650万円の在庫を抱えています。出資している団体が集まって、までい館の定例会を開き平成31年2月末までに、在庫をかかえている花の処理をするという確認をした

ところですか。

再質問 までい館の増資という形の出資は今回が最後と受け止めてよいのか。

答弁 全員協議会でも説明をしましたし村としての来期の心構え、方針をお話をさせて頂きました。

これをまた来年やれば（黒字転換できなければ）当然倒産ということになりますから、来年度以降絶対に村からの増資はしないという方針です。

質問 四半期ごとにまでい館の進捗管理の報告を徹底していけるのか。

答弁 必ず経営の現状を皆さんに報告します。これは絶対やります。

村長、副村長の減給について

質問 村長、副村長、課長、係長の減給について、責任の重さ、報

道以上の情報はあるのか。再発防止の改善マニュアルは。

答弁 職員にも、我々にもそれなりの責任があるということですが、やってきたのですが、今回、絶対にあつてはいけなことがおきてしまいました。任期付き職員であっても村の職員としてのことでございまして、改めて心からお詫び申し上げます。報道に出ていることがすべてであります。上司であり、責任者の我々が襟を正すということで議案にあげさせていただきました。二度とないよう全庁に綱紀粛正を図りました。このようなことが起こらない行政システムをつくらなくてはいけないと思っています。

ズバリ 村政

ここが
聴きたい!!

一般質問 Q&A

12月定例会の一般質問には5議員が登壇し、村行政の考えや対応策について問いました。質問順に質疑応答を要約し掲載します。

高橋 和幸 議員

- ふるさと納税について
- 学校、教育施設の今後の有効な活用について

相良 弘 議員

- 移住・定住・交流事業成果について
- 住環境に係わる条例の制定について
- 道の駅「まてい館」の収支改善策について

佐藤 一郎 議員

- 日本語学校について
- 村のごみ処理について

佐藤 八郎 議員

- 村民の健康について
- 放射性物質除去について
- 村民の不安について

佐藤 健太 議員

- 村の企業支援について
- 旧学校施設や公共施設の利活用について
- 道の駅「まてい館」について
- 村の財政計画について
- 医療・福祉の充実について
- 移住・定住・交流事業について

※ 一般質問とは

議員が村の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等について村長の所信、役場の見解や取組みを質したり提案・誘導していく政策議論です。





佐藤 八郎 議員

質 放射線物質（毒物）と健康被害の検証を

答 村民の為の健康施策に努力します

質問 村民生活にあつては健康が一番だ。

原発事故により放射性物質（毒物）が全村に降散されたが、他市町村のようにすぐに避難しないで、「避難しなくても大丈夫」という医師、学者による説明会により、避難が遅くなり多量の被ばくをした実態です。帰村された方々の見守り対策と健康向上施策の実態と今後の対応を伺う。

答弁 介護予防の為に「つながっぺ」を開設し、健康相談、健康教育、百歳体操、口腔ケア教室、低栄養教室などを行っています。見守りはNPO法人に委託し、安否確認と健康支援事業を実施し、村者の安否と生活の変化や偏食確認に取組んでいます。

再質問 除染は村面積の約15%しか行っていないし、ホットスポットもある。無除染面積85%は、放射性物質（毒物）の置き去りの実態が、原発事故後8年目を迎える飯館村だ。

降散された物質の健康への影響を具体的に示すべきであるし、国発表の31核種のうち、半減期が残っているものはどの種類なのかを示す事で、村民の安心、安全な健康生活とすべきである。



▲つながっぺの健康教室のようす

答弁 村内に現存する放射性物質は、セシウムが全域、プルトニウム2カ所、ストロンチウム6カ所（国発表）であり、放射線被ばくでの健康被害は確認しておりません。生活の環境変化や放射線被ばくを心配することによるストレスが原因と思われる、高血圧、肥満、糖尿病、不眠などの体調不良はあります。健康への影響の検証は、県立医大など関係機関で模索中であり、連携して進めます。

除染しない85%と汚染物があれば健康上「放射能被ばく」します

質問 放射能に関して国、県から言われた通りの答弁をしているが、村としてきちんと検証すべきである。例えば私の家の雨樋にある土砂と草からもプル

トニウムが検出されるように、村内全域からサンプル採取すれば実態が出てきます。村長のあり方（国・県のデータのみ）がくるっているので村民の為に働く職員も育たないのではないか。

答弁 国だけでは十二分ではないので、村独自に獲得したこともあり、飯館村が言ったことが全市町村につながることでもあります。国の言いなりなどと広げないで頂きたい。

再質問 私が広げているのではなく、執行している実態である。内部被ばく検査（ホールボディカウンター）で明確にしているが、国がIAEAに報告する為に作成した資料が昨年8月26日に経済産業省から発表された。

この報告は、放射性物質（毒物）は3核種（アルファ、ベータ、ガンマ）あり、ガンマ線検査のみでは健康検査にならないが。

答弁 村民に放射能について理解してもらい、食品検査機もモニタリングポストも設置しています。除染も表面の剥ぎ取りへの変更と、村民の被ばくを少なくするよう努力しています。



▲食品放射能測定装置



佐藤 一郎 議員

質 飯樋小学校の活用として日本語学校を設置してはどうか

答 設置は難しいが、村の公共施設の活用策を模索してまいります

質問 このたび総務文教常任委員から三人が代表して、日本語学校を町立で運営している北海道東川町を11月27日に研修してきた。

先の国会で外国人材拡大の改正入管法が決まりましたが、私たちは単なる労働者の受け入れではなく東川町の日本語学校のように、町づくりにつながるよう、留学生を受け入れて、これからの村の移住・定住・交流事業につながるものにしていただきたいと思っています。村の今後の公共施設の活用の一つとして

震災復興期間は平成32年度で終わりです。2020年のオリンピック・パラリンピックの後のラオスとの交流を契機に更なる事業の展開を考え、飯樋小学校の活用は日本語学校を設置すべきだと考える。村長の考えを伺う。

答弁 全国的に非公設あるいは公設民営型の日本語学校があるようです。地域によって、設置意図はさまざまです。多くは国際交流による地域活性化を図っていく、あるいは交流人口の増加により地域経済の活性化を図る、不足する介護・福祉分野の労働力を補うなどが主な目的かなと思います。

北海道東川町の日本語学校を視察されたということであり、日本語学校の設置がすぐに地域の活性化に



▲北海道東川町 日本語学校の様子

つながるといふ形になればいいのですが、今、飯樋村の状況では難しいものがある気がします。三つの小学校をどう使っていかうかがというのがこれからの村の課題ですので、飯樋小学校に限らず村の公共施設の活用は重要な課題です。今後、議会とも協議をしながら模索してまいりたいと考えています。

村のごみ処理について

再質問 この提案は、飯樋地区・小中学校の近隣住民との確認はしていませんが、今後、懇談もしながら、地区の考えも確認し、私たちも努力してまいりたいと考えている。再度、村長の考えを伺う。

答弁 学校をつくるというのとはなかなか大変な話です。国頼み、制度頼みとなりますので、もう少し調べたいと思います。

質問 私は、広域議員として、広域の議会にも出ていますが、以前村にはごみ焼却施設建設計画があつて、後々のランニングコストを考え中止にし、近隣自治体に処分をお願いしたと聞きましたが、その後の動きを伺う。

答弁 現在蔵平の仮設

焼却炉でごみ処分をしています。ここでの受け入れ期限は平成33年3月までとなっています。ごみの処分量は増加傾向にあり今後の処分施設の確保は課題となっています。

南相馬市へはお願いしておりますが、南相馬市からの具体的な回答はありません。協議を重ね要請して参ります。

再質問 再度、近隣の自治体にお願います。お願いが。

答弁 南相馬市長さんが変わられましたから「私たちは南相馬さんの汚泥を一番受け入れてるんですよ。」とお話をしましたところ、「わかっています。本当にありがたい。しかし、ごみの問題なので、もう少しお時間をいただきたい」と言うことでした。



相良 弘 議員

質 示せ 「道の駅」の収支改善策を

答 コスト削減や業務効率化の見直しを行う

質問 道の駅までい館の収支改善策について。過般、「道の駅」の初年度収支決算が開示された。これに基づき、今後の収支改善策を伺う。

答弁 先に開示したとおり営業成績はマイナス900万円強となっています。現在、村ではコンサルティング会社に依頼し、経営の状況調査分析を行っています。



▲経営改善中の「道の駅までい館」

す。改善策としては6点程提案されていますが、できるところから順次実行していきます。

再質問

極久里珈琲の導入、トイレ側の展示スペース付近への買い物カゴの設置は考えられないか。

答弁 極久里珈琲は以前交渉した経過があります。その時の状況を確認しながら、今後も協議したいと思っております。また買い物カゴについては、今後準備していきます。

移住・定住交流事業の成果について

質問 平成30年度最重点事業として移住・定住・交流事業がスタートしましたが、現時点での事業実施内容、事業成果について伺う。

答弁 「移住定住交流推進対策室」を設置し、各種事業に取り組んでいます。職員は5人体制です。「移住定住支援事業」を行っております。

事業実績としては住宅リフォームや引越費用の補助申請者が8名、空き家登録件数が9件、空き家登録件数が8件。そのうち、空き家については1件が契約に向けて進んでおります。これらの補助見込み額は240万円となっております。

再質問 この事業の情報発信、PR方法(特に村外)について伺う。

答弁 インターネットでの情報発信はもちろん、アドバイザーにもお願いしております。移住定住交流対策室にも問い合わせが多くなっております。今後あらゆる媒体を使ってPRに努めたいと思っております。

提案 是非、県内の道の駅なども情報発信の場に活用するよう提案します。

住環境に係わる条例の制定について

質問 現在、飯館村ではあらゆる業種の企業が進出するにあたって村独自の規制はない。特に騒音、悪臭を伴う企業については、条例で規制し、指導すべきではないか。

答弁 現在、村では飯館村公害対策条例を定めております。公害を出すおそれのある事業所には公害防止計画の提出を命じることができるとなっております。以前にも公害が発生した際に相双地方振興局、相双家畜保健所等県の関係機関、事業者、公害の利害関係者と協議を行ったという経緯があります。今後特に重要と公害に係わる苦情などの処理に関する事項に關しましては、学識を有する

方々で構成される飯館村公害対策審議会などに諮問し、答申に応じて対応していきたいと考えております。

再質問 現在悪臭の問題は白石地区で発生している。今後、白石地区に限らず、村内への企業進出の際は厳しく審査して頂きたい。

答弁 公害的なことがあった際は厳重に対策を講じるようにいたします。



▲問題になっている施設



高橋 和幸 議員

質 ふるさと納税について

答 新しい村づくりの施策に使うことで間接的に広く住民に還元していきたい

質問 今時点での飯館村のふるさと納税の具体的な返礼品の中身とあり方を伺う。

答弁 日本で最も美しい村連合の加盟市町村のものを中心に色々なものを送っています。村のものについては今回、お米と花卉を追加しています。今は産品が無いので、今後はできる限り地場産品が送れる様に、農業再開等の事

業を進めていきます。質問 地場産品がないとの答弁ですが、皆さん村内に限らず村外でも生産している。その村外で作られたものは、村民が作ったものでも地場産品とは認めないのか。

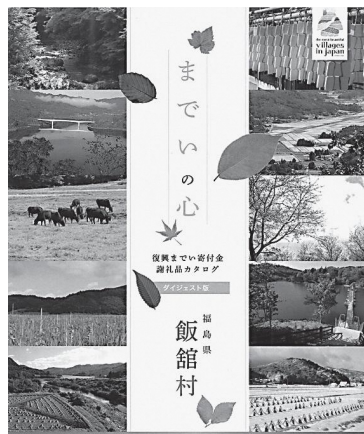
答弁 飯館村は畜産の村です。ある方は県外で一生懸命頑張っている。ただいておりますが、その土地である程度

飼育すると飯館牛ではなくなりそうです。

飯館牛復活にはまだ時間が必要ですが、飯館牛の認知度は高いのでその代わりに米沢、神戸牛でも良いという国の見解は頂いております。

か。復興に取り組み中、なぜ野菜を使うという方向に向いていないのか伺う。

答弁 返礼品について村としては十分検討しなければなりません。肉は大変多いのですが、野菜はどのくらい



▲ふるさと納税のパンフレット

再質問

答弁にお米や花の追加とありますが、何故、野菜が入っていないのか。野菜が有名な北海道、茨城にしても3千円や5千円で野菜だけの詰め合わせを発送している。村民には一年を通して供給出来る方もいる。ふるさと納税の返礼品の選定基準は何なの

あるのか調べてみたいと思います。年間を通して供給できる体制が整っていれば構いませんが、大事なことです。のできちんと検討した上で決定していきたいと考えております。少しでも村のものという思いは持つております。

教育施設の今後の活用CONCEPT

質問 教育施設の今後の有効な活用について、村立高校断念は残念な結果でしたが、新たに議員数名から日本初

の村立外国人日本語学校について提案がありました。行政の長として率直な見解を伺う。

答弁 原子力災害の特殊性で村民が戻らないし、少なくなってきたり、若い人たちを入れようという施策への考えは高く評価します。ただ、経営収支、財源確保、将来の負担にならないか等課題はたくさんあります。今後検討していきたいと思

います。

再質問 私たちも根拠のない提案はしない。

特別交付税、国と村の負担財源の割合、留学制度の実態、経済効果、人や物の流れ、全国か

らの注目と関心、それによる様々な付加価値。飯館村の発展の足掛かりとなるはずだ。国会議員の先生が述べた、「福島復興の発信は飯館村から」の発言に繋がる事業にまさしく当てはまると思われる。

今後、議会、行政一丸となって検討課題としていただけるか、再度伺う。

答弁 収支計算して村の負担にならないか、白紙の状態から勉強させていたいただきたいと思



▲今後の利用が期待される飯櫃小学校



佐藤 健太 議員

質 村の企業への支援について
答 商工会などと協議をしながら
具体策を検討していく

質問 融資利子補給事業など、村のホームページに記載がありながらも予算を確保しておらず、申し出があっても執行できない状況の案件があると聞いています。現状と今年度中に執行できるかを伺う。

答弁 現在は国及び県の支援事業を優先に活用し、支援しております。このような支援により、ホームページに掲載している「融資利

子補給事業」などの支援については、現在、見合わせをしております。ホームページについては、早急に村の支援策の見直しを行い国や県などの支援策も掲載し随時情報を更新していくように努めてまいります。

なお、国、県等の支援事業については、終期が平成32年度と聞いておりますので、村と

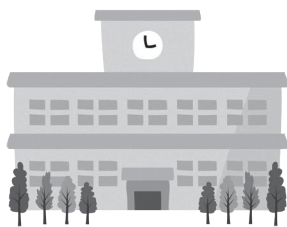
旧学校施設や公共施設の利活用について

質問 村の学校や公共施設の今後の利用方法について現在のどのような計画かを伺う。

答弁 公共施設の利活用については、飯館村公共施設利活用庁内検討委員会から提言された施設の解体、用途変更、継続使用の方針に基づき、施設の整理を行ってまいりました。

用途変更すべき施設は、草野幼稚園と障害者自立支援多機能型事業所の2つがあり、草野幼稚園については、用途変更し、平成30年4月より刃物製造業者に貸付をしております。障害者自立支援多機能型事業所について

しての今後の支援策については、商工会などと協議をしながら具体策を検討してまいります。



は、地元の行政区から活用要望があるため、今後の活用について協議していかねければと思っております。

飯館幼稚園は解体、草野小学校は村内遺跡からの発掘物や贈呈された図書等の保管場所、飯館小学校は改修し研修施設、白石小学校は民間への貸事務所や企業誘致などに活用したいと考えております。

また、もりの駅は関係者のみなさんの意見を聞きながら、今後どうしていくかを検討していきますと考えております。

道の駅「まじい館」について

質問 道の駅の上半期の経営状況と下半期の見込みと取組について伺う。

答弁 4月から10月までの当期純利益は、マイナス334万1千円です。国から委託を受けた外部コンサルティング会社の見通しでは、平成31年2月には資金収支がマイナスになるとのことで、現在、経営改善が出来るところから実施をしております。資本金の増資についても今年度の経営危機を乗り切るためには必須であり特段のご理解をお願いいたします。

村の財政計画について

質問 今後、さらなる転出等により大幅な人口減と高齢化が予想され、地方交付税も変化

してゆく中で、村の税収や収入をどう確保してゆく考えかを伺う。

答弁 策定を進めていた中期財政計画については、現在最終精査を行っており遅くとも2月には出せるのではと思っております。

新たな財源の確保もいろいろ考えられますが、不透明な中では申し上げられません。予算編成に向けて少しでも自主財源を確保できるように努めてまいりたいと考えております。

入ってくるお金が少なくなれば当然、出るお金も見直しをしなければなりません。特に人件費、物件費、あるいは福祉関係の扶助費とかそういうものも削減をやつていかなければならないということですので、当然、人口減少になれば財政規模も縮小していく必要があります。

審議結果

第7回臨時会では平成30年度一般会計補正予算1件、請負契約案2件、その他1件が提案され、審議の結果原案の通り可決されました。

議題は下記のとおりです。

- 議案 平成30年度飯舘村一般会計補正予算(第5号)
特定復興再生拠点エリア測量業務、笠石住宅の雨漏り等の修繕ほか8,008千円の増額補正
- 議案 被災地域農業復興総合支援事業基幹事業農業用機械導入事業(飯舘村松塚地内トラクター付属機器一式)の取得について
指名競争入札、契約先 (株)南東北クボタ原町営業所、取得金額1,069万2千円
- 議案 農業基盤整備促進事業(飯舘西部その2)農業基盤整備工事請負契約について
指名競争入札、契約先 濱田建設工業(株)、契約金額1億152万円
- 議案 被災地域農業復興総合支援事業基幹事業農業用施設等整備工事(松塚肉用牛用施設)請負契約について
指名競争入札、契約先 大内わら工品(株)、契約金額1億9,710万円

第8回臨時会では平成30年度一般会計補正予算案1件、特別会計補正予算案4件、条例改正案4件が提案され、審議の結果原案の通り可決されました。

議題は下記のとおりです。

- 議案 平成30年度飯舘村一般会計補正予算(第6号)
人事院勧告及び福島県人事委員会勧告に伴う給与改定による補正等に6,447千円を増額補正
- 議案 平成30年度飯舘村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
人事院勧告及び福島県人事委員会勧告に伴う給与改定による補正等に、168千円を増額補正
- 議案 平成30年度飯舘村簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)
菅田川配水管布設替工事(県道12号)、簡易水道監視設備等整備調査設計等の業務委託に、16,539千円を増額補正
- 議案 平成30年度飯舘村介護保険特別会計補正予算(第3号)
人事院勧告及び福島県人事委員会勧告に伴う給与改定による補正等に、1,213千円を減額補正
- 議案 平成30年度飯舘村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
人事院勧告及び福島県人事委員会勧告に伴う給与改定による補正等に、1千円を増額補正
- 議案 議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
人事院勧告及び福島県人事委員会勧告により福島県議会議員と同様に特別給を0.05月引き上げる。
- 議案 村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
人事院勧告及び福島県人事委員会勧告により福島県特別職と同様に特別給を0.05月引き上げる。
- 議案 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
人事院勧告及び福島県人事委員会勧告に基づき勤勉手当を0.05月引き上げ他。
- 議案 一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例
人事院勧告及び福島県人事委員会勧告に基づき期末手当を0.05月引き上げる。

第9回定例会では平成30年度一般会計補正予算案1件、特別会計補正予算案3件、条例改正案3件、請負契約の変更2件、その他1件が提案され、審議の結果原案の通り可決されました。

議題は下記のとおりです。

- 議案 平成30年度飯館村一般会計補正予算(第7号)
いちばん館改修工事の翌年度繰越等、259万5千円を減額補正
- 議案 平成30年度飯館村簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)
花塚浄水所機器修繕費等に、207万6千円を増額補正
- 議案 平成30年度飯館村農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
旅費、電気料等に353千円を増額補正
- 議案 平成30年度飯館村介護保険特別会計補正予算(第4号)
準備基金への積立等のため、96,089千円を増額補正
- 議案 飯館村水道条例の一部を改正する条例
使用料の徴収を再開するために条例の一部を改正する。
- 議案 飯館村農業集落排水処理施設設置条例の一部を改正する条例
使用料の積算方法を従前の定額制から、使用水量による従量制に改める。
- 議案 企業立地促進区域及び避難解除区域等における村税の特例に関する条例の一部を改正する条例
避難解除区域等の課税免除期間を平成33年3月31日まで延長する。
- 議案 白石第2住宅改修工事請負契約の変更について
除根防水シート敷砂利工事等が必要となり、工事請負額を475万9,560円増額補正
- 議案 営農再開支援水利施設等保全事業(飯館西部その1)農業用排水施設等補修工事(取水堰補修)町堰地区請負契約の変更について
取水柵の簡易ゲートの交換等の工事が必要となり、工事請負額を711万1,800円増額補正
- 議案 福島県市町村総合事務組合理約の変更について
地方自治法の改正に伴い、監査委員の選任方法を改め、事務局の設置及び職員等の条項について整理したため、規約を変更するものです。
- 議案 村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
村長及び副村長の給与月額を平成31年1月1日から2か月間に限り、村長は現行20%減額を30%減額、副村長は現行10%減額を20%減額とする。

12月定例会での請願・陳情結果

議案番号	件名	審査結果	付託委員会
請願第5号	生活再建対する補償に関する請願	不採択	総務文教
請願第6号	村内居住者の放射線被ばく回避に関する請願	継続審議	総務文教

12月定例会賛否一覧

議案名	議員氏名								賛成	反対	審議結果
	佐藤健太	長正利一	佐藤一郎	高橋孝雄	高橋和幸	渡邊計	佐藤八郎	相良弘			
平成30年飯館村一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	×	○	7	1	可決
生活再建対する補償に関する請願	○	○	○	○	○	×	×	○	6	2	不採択

○は賛成、×は反対を表しています。議長の菅野新一は表決にかかりません。

常任委員会 活動報告

産業厚生・総務文教常任委員会 合同所管事務調査

平成30年10月10日
11日に、岐阜県岐阜市
と東白川村へ所管調査
に行ってきました。

プログラミング 教育について

- 調査内容
- ・岐阜市
- ・プログラミング教育
- ・東白川村
- ・フォレストスタイル事業



▲岐阜市役所にて

- ・ ICT(情報通信技術) タブレットを活用した授業とプログラミング教育の推進
- ・ チャレンジ
- ・ 独自教科書による英語教育、トップランナー支援事業を実施
- ・ 子どもなやみ相談、トワイライト(夜間授業)を実施
- ・ 先生のための研修を実施

フォレストスタイル 事業

- 感想
- ・岐阜市は「5年先行く教育」を掲げて時代に合った素晴らしい教育指導の在り方、方向性である。
- ・ 視力低下などのリスクもあるのではないか。

・ ICTを活用した地域課題の解決

・ 特産「東濃ヒノキ」の生産から流通までネットワークを活用し、地場産業のサイクル化

・ フォレストスタイルの理念は「森のめぐみに満ちたライフスタイルの提案・提供」

・ 平成26年「村オプザイヤー」を受賞

● 感想

・ 決して恵まれた環境ではない中で、住民・地域・行政が一体となり地場産業の上流から下流までを構想した振興策に取り組んでいる。



▲東白川村役場にて

・ 住民の現在と未来を見据えた行政執行を行っている。

産業厚生 常任委員会

平成30年11月29日に、福島県立医科大学へ所管調査に行ってきました。

● 調査内容

・ ふくしまいのちと未来のメディカルセンター棟(未来棟)の施設と機能

・ 県民健康調査の概要

未来棟の施設と機能について

・ 救急・災害被爆に対

応した医療体制
・ 子供と女性が安心して
きる医療体制

・ 療養環境の充実した施設で、1Fは災害医療・高度救命救急センター、2Fは甲状腺検査部門・甲状腺内分泌診療センター、3Fは総合周産期母子医療センター、4Fは放射線治療・レディースフロア、5Fはこども医療センターである。

放射線医学県民健康管理センターは2F甲状態検査部門、6F事務部門、7F情報管理等の施設で160名体制の組織を組んでいる。



▲県立医科大学未来棟視察

県民健康調査 について

● 基本調査
事故直後の空間線量が最も高かった時期における外部被爆線量を把握し推計する。

対象者200万人に
対して調査率30%56万
7千人で当村は回答率
50%である。

県民の被爆線量は、
99・8%が5mSv未満
で、最大値は25mSvで
あり、当村では67・5%
が5mSv未満である。

・ 甲状腺検査 事故当
時18歳以下の子ども
(胎児を含む)約38万
(千人を対象に現在4
回目の検査中である。

検査1回目 30万47
2人中悪性の疑い116人
検査2回目 27万52
9人中悪性の疑い71人。

検査3回目 21万7千
472人中悪性の疑い
15人であり、二次検査
の割合は1%未満であ
る。

- ・健康調査 事故による避難区域等の住民、約21万5千人を対象に実施されており避難生活が因子として考えられる疾患は、肥満・高血圧・糖尿病・脂質異常・慢性腎臓病・胆機能障害・多血症であり、増加した疾患は心房細動である。
- ・こころの健康・生活習慣に関する調査 子どもの情緒と行動、PTSDリスクを抱えている人の割合、全般的な精神健康、全てが減少傾向にあるが基準値より高い。
- ・妊産婦に関する調査 県内外で健康母子手帳を交付された方と県内で分娩された方を対象に、こころの健康・生活状況・妊娠中の健康状態・出産状況・育児の自信・次回妊娠に対する意識について調査を実施。全国調査(人口動態統計)との差異



▲福島県立医科大学にて

- 感想
- ・甲状腺検査の当村の対象者は1千123人で、受診率68%と県内受診率78%を下回っている。悉皆検査(対象者全て、のこらず検査する)体制を検討すべき。
- ・同規模で他県との比較を実施すべき。
- ・こころの健康では「うつ」が増加している。調査の継続と対応・対策が急務である。

議会の主な動き (9～12月)

- 《9月》
- 21日 相馬地方町村議会 議長・事務局長合同会議 (福島市)
- 《10月》
- 1日～3日 相馬地方町村議会 議長会行政視察研修 (北海道)
- 10日～11日 常任委員会合同所管事務調査(岐阜県)
- 22日 議会運営委員会
- ・ 全員協議会
- ・ 第7回臨時議会
- 23日 県町村議会議員研修会 (郡山市)
- 25日 広報編集特別委員会
- 29日 相馬地方市町村議員・職員研修会 (南相馬市)
- 《11月》
- 21日 全国町村議会議長大会 (東京都)
- 29日 産業厚生常任委員会 所管事務調査 (福島市)
- 30日 議会運営委員会
- ・ 全員協議会
- ・ 第8回臨時議会
- 《12月》
- 7日 議会運営委員会
- 11日 全員協議会
- ・ 第9回議会定例会 (開会)
- ・ 産業厚生常任委員会
- ・ 総務文教常任委員会
- 13日 一般質問
- 14日 一般質問
- ・ 全員協議会
- ・ 議会運営委員会
- 18日 全員協議会
- ・ 本会議 (閉会)

議会を傍聴してみませんか

氏名の記入など簡単な手続きで傍聴できます。是非お出かけください。

※尚、タブレット・パソコンでも視聴できます。

今後の議会の予定 3月定例会：3月4日 開会、7・8日 一般質問、11・12・14日 予算審査特別委員会、19日 議案審議、閉会 10時から

編集後記

まだまだ寒さが続きます。風邪など引かれませぬようお体をご自愛くださいませ。

我々議員一同、行政執行の監視役として、村の復興に全力を注いでまいります。

議会へのご意見・ご質問等ございましたら遠慮なく議会事務局までお寄せ下さい。

〒960-1189
伊丹沢字伊丹沢580番地1
☎0244-4211628

発行責任者

議長 菅野 新一

編集

広報編集特別委員会

委員長 相良 弘

副委員長 佐藤 健太

委員 渡邊 計

高橋 孝雄

長正 利一

佐藤 一郎

高橋 和幸